

地域に根ざした地道な活動 ななかまどの会ボランティアの夕べ開く

「アフター洞爺湖サミット 第3回ななかまどの夕べ」主催ななかまどの会（坂井千枝会長）が、10月24日洞爺湖文化センターで約100人の町民らが参加して開かれ、生バンドでのダンス大会に、楽しい夜を過ごしました。

会に先立ってボランティア振興基金とななかまど文庫に対して寄付が行われ、来賓として出席した大久保社会福祉協議会副会長と吉田副町長に、その目録が手渡されました。

会場には、壮瞥高校生が育て



プロのダンサーに見入る参加者

たシクラメンの鉢や壮瞥産のりんごなどが格安でバザーとして販売され、こちらも来場者の目を引いていました。

お年寄りハッスル 第3回洞爺湖町高齢者運動会

第3回洞爺湖町高齢者運動会（主催同実行委員会）が10月20日あぶた体育館で、220人のお年寄りが参加して開かれました。

鈴木正直委員長が「元気に楽しい運動会になるようがんばりましょう」と挨拶し、競技開始4グループに分かれ、「大玉ころがし」や「おそっじりレー」などの種目で競いあい、日ごろの運動不足の解消と仲間との交流に笑顔がいっぱいあふれていました。

またアトラクションとして行



保育園児の遊戯に目を細めるお年寄り

われた。本町、入江保育所の園児による可愛らしい遊戯に、お年寄り達は、目を細めていました。

まじりのわだい

洞爺湖町で竜王戦開催 羽生善治名人勝利

10月30、31日の両日、第21期竜王戦7番勝負の第2局が洞爺湖温泉の万世閣ホテルレイクサイドテラスで開催され、渡辺竜王と羽生善治名人の行き詰まる攻防が展開されました。

5期連続を目指す渡辺竜王と通算7期がかかる羽生名人との戦いとあって、道内だけでなく道外からもファンが訪れ、勝敗を固唾を呑んで見守りました。

結果羽生名人が勝利を収め、2連勝となり、有利な展開となりました。



前夜祭で花束を受ける羽生名人（左）と渡辺竜王

洞爺地区の高台を歩く 開拓の歴史を探るウォークラリー

10月18日 教育委員会と健康づくり推進委員会が主催して、洞爺地区の高台にある文化財をバス徒歩で巡るウォークラリーが開かれ、約35人が参加しました。

当日は道の駅洞爺湖に集合し、バスで成香の馬頭観世音碑、旧二ナルカ地域を巡りました。その後成香神社からは、徒歩に移り、成香の開拓記念碑、香川神社、香川小学校跡を歩き、開拓のつめ跡を学びました。

各地点では、説明の他に地名にちなんだクイズが出され、そ



説明に聞き入る参加者

れに一喜一憂しながら、和やかな雰囲気で行進を歩き貫きました。